

## 令和6年度宮古・下閉伊地方乾しいたけ品評会の開催について

### 1 はじめに

この度、関係機関と生産者団体に組織する宮古・下閉伊地方原木しいたけ生産推進協議会の主催により、「令和6年度宮古・下閉伊地方乾しいたけ品評会」を開催しました。

令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小して開催してきた品評会ですが、本年度は、5年ぶりに展示会と販売会も開催することができました。

### 2 審査会

5月30日、宮古地区合同庁舎を会場に、岩手県森林組合連合会の深澤部長を審査指導に迎え、4名の審査委員により審査しました。出品物は5銘柄計25点（天白どんこ3点、茶花どんこ10点、どんこ4点、こうしん1点、こうこ7点）です。

今年は、1月から3月までの降水量が平年以上となり、ホダ木への吸水が充分進み、久しぶりの豊作が期待されました。

発生最盛期の4月中旬に入ると気温が高かったことから、集中発生傾向となり、生産量は確保した一方、適期での採取が難しく、品質の維持に苦労した作柄となりました。

このような難しい気象条件の中でも、出品物の出来栄はどれも素晴らしく、宮古・下閉伊地方の生産者の技術力の高さと、品評会に対する意気込みの高さを証明するものでした。



### 3 褒章授与式

6月8日、いわて生協マリコープ DORA を会場に、褒章授与式を開催しました。

当日は、県しいたけ産業推進協議会副会長を来賓に招き、優等賞受賞者をはじめ入賞者に対し、賞状と副賞が贈呈されました。



### 4 展示会・販売会

褒章授与式と同日、同会場において、出品物の展示のほか、乾しいたけの販売会を開催しました。

展示会場には、多くのお客様が来場し、見事な出品物に足を止めていただきました。

販売会では、スライスしいたけの詰め放題を目玉に、高品質な乾しいたけを複数アイテム販売し、持ち込んだ商品は完売しました。



### 5 おわりに

今後も、技術交流会の開催を通じて、地域全体で栽培技術の底上げを図っていくとともに、道の駅のレストランで乾しいたけメニューの提供を働きかけるとともに、試食販売会を開催するなど、一層の消費拡大にも取り組んでいきます。